

## 2 水質試験方法及び試験成績について

この「水質試験年報」は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間に、横浜市水道局が行った水質試験の成績を収録したものです。次の方法により水質試験を行いました（最終改正日は平成30年4月1日時点）。

- ・ 水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法（平成15年7月22日厚生労働省告示第261号。平成30年3月28日最終改正。以下、「検査方法告示」という。）
- ・ 水道法施行規則第17条第2項の規定に基づき厚生労働大臣が定める遊離残留塩素及び結合残留塩素の検査方法（平成15年9月29日厚生労働省告示318号。平成17年3月11日最終改正。以下、「残留塩素検査方法告示」という。）
- ・ 水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について（平成15年10月10日健水発第1010004号。平成30年3月28日最終改正）
- ・ 水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について（平成15年10月10日健水発第1010001号。平成30年3月28日最終改正）の別添4（以下、「水質管理目標設定項目の検査方法」という。）
- ・ 上水試験方法 2011年版（平成23年 日本水道協会）
- ・ 水道水等の放射能測定マニュアル（平成23年10月 厚生労働省）
- ・ 水道用資機材の浸出試験方法 JWVA Z108:2016

なお、各項目の水質試験方法、試験結果の表示方法等は、次の「(1) 水質試験方法及び試験結果記載要領」及び「(2) 生物試験結果記載要領」のとおりです。

**(1) 水質試験方法及び試験結果記載要領**

表示例の「未満」は定量下限値未満を表す。定量下限値の記載については、「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について（平成15年10月10日健水発第1010001号）」に従うものとする。定量下限値は原則として基準値及び目標値の10分の1とし、技術的に実施可能な項目についてはそれ以下とした。試験方法未記載の項目については、試験を行っていない。

**水質基準項目**

No.	水質基準項目	単 位	基準値	最小 単位	有効 桁数	定量下限値	表示例		試 験 方 法	備考
							定量下限値以上	定量下限値未満		
1	一般細菌	CFU/mL	100	1	2	1	1	1未満	検査方法告示の別表第1に定める方法	標準寒天培地法
2	大腸菌（定性）		検出されないこと				検出	不検出	検査方法告示の別表第2に定める方法	特定酵素基質培地法
3	カドミウム及びその化合物	mg/L	0.003	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
4	水銀及びその化合物	mg/L	0.0005	p.5	2	0.00005	0.00005	0.00005未満	検査方法告示の別表第7に定める方法	還元気化-原子吸光度法
5	セレン及びその化合物	mg/L	0.01	p.4	2	0.0005	0.0005	0.0005未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
6	鉛及びその化合物	mg/L	0.01	p.4	2	0.0005	0.0005	0.0005未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
7	ヒ素及びその化合物	mg/L	0.01	p.4	2	0.0005	0.0005	0.0005未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
8	六価クロム化合物	mg/L	0.05	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
9	亜硝酸態窒素	mg/L	0.04	p.3	2	0.004	0.004	0.004未満	検査方法告示の別表第13に定める方法	IC法
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	0.01	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第12に定める方法	IC-ポストカラム吸光度法
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	10	p.2	3	0.02	0.02	0.02未満	検査方法告示の別表第13に定める方法	IC法
12	フッ素及びその化合物	mg/L	0.8	p.2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第13に定める方法	IC法
13	ホウ素及びその化合物	mg/L	1.0	p.2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
14	四塩化炭素	mg/L	0.002	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
15	1,4-ジオキサン	mg/L	0.05	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
16	シス-1,2-ジクロロエチレン 及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
17	ジクロロメタン	mg/L	0.02	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
18	テトラクロロエチレン	mg/L	0.01	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
19	トリクロロエチレン	mg/L	0.01	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
20	ベンゼン	mg/L	0.01	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
21	塩素酸	mg/L	0.6	p.2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第16の2に定める方法	IC法
22	クロロ酢酸	mg/L	0.02	p.3	2	0.002	0.002	0.002未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法	LC-MS法
23	クロロホルム	mg/L	0.06	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
24	ジクロロ酢酸	mg/L	0.03	p.3	2	0.003	0.003	0.003未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法	LC-MS法
25	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.1	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
26	臭素酸	mg/L	0.01	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第18の2に定める方法	LC-MS法
27	総トリハロメタン	mg/L	0.1	p.4	3	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
28	トリクロロ酢酸	mg/L	0.03	p.3	2	0.003	0.003	0.003未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法	LC-MS法
29	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.03	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
30	ブロモホルム	mg/L	0.09	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	検査方法告示の別表第14に定める方法	PT-GC-MS法
31	ホルムアルデヒド	mg/L	0.08	p.3	2	0.005	0.005	0.005未満	検査方法告示の別表第19の3に定める方法	誘導体化-LC-MS法
32	亜鉛及びその化合物	mg/L	1.0	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
33	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.2	p.3	2	0.004	0.004	0.004未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
				p.2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第5に定める方法	ICP-AES法
34	鉄及びその化合物	mg/L	0.3	p.2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
									検査方法告示の別表第5に定める方法	ICP-AES法
35	銅及びその化合物	mg/L	1.0	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
36	ナトリウム及びその化合物	mg/L	200	p.1	2	0.2	0.2	0.2未満	検査方法告示の別表第20に定める方法	IC法
37	マンガン及びその化合物	mg/L	0.05	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
				p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第5に定める方法	ICP-AES法
38	塩化物イオン	mg/L	200	p.1	2	0.2	0.2	0.2未満	検査方法告示の別表第13に定める方法	IC法
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	mg/L	300	1	2	1	1	1未満	検査方法告示の別表第20に定める方法	IC法
40	蒸発残留物	mg/L	500	1	3	1	1	1未満	検査方法告示の別表第5に定める方法	ICP-AES法
41	陰イオン界面活性剤	mg/L	0.2	p.3	2	0.004	0.004	0.004未満	検査方法告示の別表第23に定める方法	重量法
42	ジェオスミン	mg/L	0.00001	p.6	2	0.000001	0.000001	0.000001未満	検査方法告示の別表第27の2に定める方法	固相抽出-HPLC法
43	2-メチルイソボルネオール（2-MIB）	mg/L	0.00001	p.6	2	0.000001	0.000001	0.000001未満	検査方法告示の別表第27の2に定める方法	固相抽出-GC-MS法
44	非イオン界面活性剤	mg/L	0.02	p.3	2	0.008	0.008	0.008未満	検査方法告示の別表第28に定める方法	固相抽出-吸光度法
45	フェノール類	mg/L	0.005	p.4	2	0.0005	0.0005	0.0005未満	検査方法告示の別表第29に定める方法	固相抽出-誘導体化-GC-MS法
46	有機物（全有機炭素（TOC）の量）	mg/L	3	p.1	2	0.3	0.3	0.3未満	検査方法告示の別表第30に定める方法	全有機炭素計測定法
47	pH値		5.8～8.6	p.2	3		7.00		検査方法告示の別表第31に定める方法	ガラス電極法
48	味		異常なし					異常なし	検査方法告示の別表第33に定める方法	官能法
49	臭気		異常なし					異常なし	検査方法告示の別表第34に定める方法	官能法
50	色度	度	5	p.1	2	0.5	0.5	0.5未満	検査方法告示の別表第36に定める方法	透過光測定法（100mm, 390nm）
51	濁度	度	2	p.1	2	0.1	0.1	0.1未満	検査方法告示の別表第41に定める方法	積分球式光電光度法

※1 定期試験成績 第1部 4～6 の成績に適用する。

**水質管理目標設定項目**

No.	水質管理目標設定項目	単 位	目標値 （*：暫定値）	最小 単位	有効 桁数	定量下限値	表示例		試 験 方 法	備考
							定量下限値以上	定量下限値未満		
1	アンチモン及びその化合物	mg/L	0.02	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法4	ICP-MS法
2	ウラン及びその化合物	mg/L	0.002*	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法4	ICP-MS法
3	ニッケル及びその化合物	mg/L	0.02	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法4	ICP-MS法
4	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法1	PT-GC-MS法
5	トルエン	mg/L	0.4	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法1	PT-GC-MS法
6	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	mg/L	0.08	p.3	2	0.005	0.005	0.005未満	水質管理目標設定項目の検査方法	溶媒抽出-GC-MS法
7	亜塩素酸	mg/L	0.6							
8	二酸化塩素	mg/L	0.6							
9	ジクロロアセトニトリル	mg/L	0.01*	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法3	溶媒抽出-GC-MS法
10	抱水クロラール	mg/L	0.02*	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法3	溶媒抽出-GC-MS法
11	農薬類（オキソソ体を含む）		1	p.3	3	検出値と目標値 の比の和として、1	0.001	0.000	水質管理目標設定項目の検査方法 別添方法5, 5の2, 6, 7, 18, 19, 20, 25	固相抽出-LC-MS法、LC-MS法 固相抽出-GC-MS法、PT-GC-MS法
12	残留塩素	mg/L	1	p.2	2	0.08	0.08	0.08未満	残留塩素検査方法告示の別表第1に定める方法	ジエチルp-フェニレンジアミン法
				p.2	2	0.10	0.10	0.10未満	残留塩素検査方法告示の別表第5に定める方法	ポーラログラフ法
13	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	mg/L	10～100	1	2	1	1	1未満	検査方法告示の別表第20に定める方法	IC法
									検査方法告示の別表第5に定める方法	ICP-AES法
14	マンガン及びその化合物	mg/L	0.01	p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法
				p.3	2	0.001	0.001	0.001未満	検査方法告示の別表第5に定める方法	ICP-AES法
15	遊離炭酸	mg/L	20	p.1	3	0.1	0.1	0.1未満	水質管理目標設定項目の検査方法	滴定法
16	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3	p.4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法1	PT-GC-MS法
17	メチル-tert-ブチルエーテル（MTBE）	mg/L	0.02	p.4	2	0.0002	0.0002	0.0002未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法1	PT-GC-MS法
18	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	mg/L	3							
19	臭気強度（TON）		3	1	3	1	1	—	水質管理目標設定項目の検査方法	官能法
20	蒸発残留物	mg/L	30～200	1	3	1	1	1未満	検査方法告示の別表第23に定める方法	重量法

21	濁度	度	1	p. 1	2	0.1	0.1	0.1未満	検査方法告示の別表第41に定める方法	積分球式光電光度法	
22	pH値		7.5程度	p. 2	3		7.00		検査方法告示の別表第31に定める方法	ガラス電極法	
23	腐食性(ランゲリア指数)		-1程度~0	p. 1	3		-0.1		水質管理目標設定項目の検査方法	計算法	
24	従属栄養細菌	CFU/mL	2,000*	1	2	1	1	1未満	水質管理目標設定項目の検査方法	R2A寒天培地法	
25	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1	p. 4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	水質管理目標設定項目の検査方法の別添方法1	PT-GC-MS法	
26	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.1	p. 4	2	0.0004	0.0004	0.0004未満	検査方法告示の別表第6に定める方法	ICP-MS法	
				p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第5に定める方法	ICP-AES法	※1

※1 定期試験成績 第1部 4~6 の成績に適用する。

※2 定期試験成績 第1部 10 の成績に適用する。

### 要検討項目

No.	要検討項目	単 位	目標値 (*:暫定値)	最小 単位	有効 桁数	定量下限値	表示例		試 験 方 法		備考
							定量下限値以上	定量下限値未満			
1	銀及びその化合物	mg/L		p. 4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	上水試験方法のIII-3の20.3に準ずる方法	ICP-MS法	
2	バリウム及びその化合物	mg/L	0.7	p. 3	2	0.001	0.001	0.001未満	上水試験方法のIII-3の24.2に準ずる方法	ICP-AES法	
3	ビスマス及びその化合物	mg/L		p. 4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満		ICP-MS法	
4	モリブデン及びその化合物	mg/L	0.07	p. 4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	上水試験方法のIII-3の19.3に準ずる方法	ICP-MS法	
5	アクリルアミド	mg/L	0.0005	p. 6	2	0.000005	0.000005	0.000005未満	上水試験方法のIV-2の18.3に準ずる方法	固相抽出-LC-MS法	
6	アクリル酸	mg/L									
7	17-β-エストラジオール	mg/L	0.00008*	p. 5	2	0.00005	0.00005	0.00005未満	上水試験方法のIV-2の21.2に準ずる方法	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	
8	エチニル-エストラジオール	mg/L	0.00002*	p. 5	2	0.00005	0.00005	0.00005未満	上水試験方法のIV-2の21.2に準ずる方法	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	
9	エチレンジアミン四酢酸 (EDTA)	mg/L	0.5								
10	エピクロヒドリン	mg/L	0.0004*								
11	塩化ビニル	mg/L	0.002								
12	酢酸ビニル	mg/L									
13	2,4-トルエンジアミン	mg/L									
14	2,6-トルエンジアミン	mg/L									
15	N,N-ジメチルアニリン	mg/L									
16	スチレン	mg/L	0.02								
17	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	1*								
18	トリエチレンテトラミン	mg/L									
19	ノニルフェノール	mg/L	0.3*	p. 4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	上水試験方法のIV-2の17.2に準ずる方法	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	
20	ビスフェノールA	mg/L	0.1*	p. 4	2	0.0001	0.0001	0.0001未満	上水試験方法のIV-2の17.2に準ずる方法	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	
21	ヒドラジン	mg/L									
22	1,2-ブタジエン	mg/L									
23	1,3-ブタジエン	mg/L									
24	フタル酸ジ (n-ブチル)	mg/L	0.01	p. 3	2	0.001	0.001	0.001未満	上水試験方法のIV-2の14.2に準ずる方法	溶媒抽出-GC-MS法	
25	フタル酸ブチルベンジル	mg/L	0.5	p. 3	2	0.005	0.005	0.005未満	上水試験方法のIV-2の14.2に準ずる方法	溶媒抽出-GC-MS法	
26	マイクロキスチン-LR	mg/L	0.0008*								
27	有機すず化合物	mg/L	0.0006*								
28	プロモクロロ酢酸	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法に準ずる	LC-MS法	
29	ブロモジクロロ酢酸	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法に準ずる	LC-MS法	
30	ジブロモクロロ酢酸	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法に準ずる	LC-MS法	
31	ブロモ酢酸	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法に準ずる	LC-MS法	
32	ジブロモ酢酸	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法に準ずる	LC-MS法	
33	トリブロモ酢酸	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	検査方法告示の別表第17の2に定める方法に準ずる	LC-MS法	
34	トリクロロアセトニトリル	mg/L		p. 3	2	0.001	0.001	0.001未満	上水試験方法のIV-2の3.2に準ずる方法	溶媒抽出-GC-MS法	
35	プロモクロロアセトニトリル	mg/L		p. 3	2	0.001	0.001	0.001未満	上水試験方法のIV-2の3.2に準ずる方法	溶媒抽出-GC-MS法	
36	ジブロモアセトニトリル	mg/L	0.06	p. 3	2	0.001	0.001	0.001未満	上水試験方法のIV-2の3.2に準ずる方法	溶媒抽出-GC-MS法	
37	アセトアルデヒド	mg/L		p. 3	2	0.005	0.005	0.005未満	検査方法告示の別表第19の3に定める方法に準ずる	誘導体化-LC-MS法	
38	MX	mg/L	0.001								
39	キシレン	mg/L	0.4	p. 4	2	0.0002	0.0002	0.0002未満	上水試験方法のIV-2の2.2に準ずる方法	PT-GC-MS法	
40	過塩素酸	mg/L	0.025								
41	パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	mg/L		p. 6	2	0.000005	0.000005	0.000005未満	上水試験方法のIV-2の22.2に準ずる方法	固相抽出-LC-MS法	
42	パーフルオロオクタノ酸 (PFOA)	mg/L		p. 6	2	0.000005	0.000005	0.000005未満	上水試験方法のIV-2の22.2に準ずる方法	固相抽出-LC-MS法	
43	N-ニトロジメチルアミン (NDMA)	mg/L	0.0001								
44	アニリン	mg/L	0.02								
45	キノリン	mg/L	0.0001								
46	1,2,3-トリクロロベンゼン	mg/L	0.02								
47	ニトリロ三酢酸 (NTA)	mg/L	0.2								

### その他自主項目

No.	試 験 項 目	単 位	目標値等	最小 単位	有効 桁数	定量下限値	表示例		試 験 方 法		備考
							定量下限値以上	定量下限値未満			
1	天候								当日は採水時、前日は採水時の24時間前		
2	気温	℃		p. 1	3		10.0		上水試験方法のII-3の1に準ずる方法	棒状アルコール温度計	
3	水温	℃		p. 1	3		10.0		上水試験方法のII-3の1に準ずる方法	ベッテンコーヘル水温計、サーミスタ温度計	
4	アンモニア態窒素	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	上水試験方法のII-3の8.3に準ずる方法	IC法	
5	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L		p. 1	2	0.1	0.1	0.1未満	上水試験方法のII-3の20.2に準ずる方法	溶存酸素計による方法	
6	全窒素	mg/L		p. 2	3	0.01	0.01	0.01未満	上水試験方法のII-3の27.2に準ずる方法	紫外線吸光度法	
7	全リン	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	上水試験方法のII-3の26.2.1に準ずる方法	ペルオキシ二硫酸カリウム分解法	
8	リン酸態リン	mg/L		p. 2	2	0.02	0.02	0.02未満	上水試験方法のIII-2の7.3に準ずる方法	IC法	
9	溶存性有機炭素 (DOC)	mg/L		p. 1	2	0.3	0.3	0.3未満	上水試験方法のII-3の22.2に準ずる方法	全有機炭素計測定法	
10	生物	N/mL		1	2	1	1	0	上水試験方法のVI-3の2.2に準ずる方法	標準計数板法、MF法、界線法	
11	大腸菌群	MPN/100mL		p. 1	2	1.0	1.0	1.0未満	上水試験方法のVの3.2に準ずる方法	特定酵素基質培地法	
12	腸球菌	MPN/100mL		p. 1	2	1.0	1.0	1.0未満	上水試験方法のVの3.5.5に準ずる方法	特定酵素基質培地法	
13	大腸菌(定量)	MPN/100mL		p. 1	2	1.0	1.0	1.0未満	上水試験方法のVの3.1に準ずる方法	特定酵素基質培地法	
14	嫌気性芽胞菌	MPN/L		1	2	10	10	10未満	上水試験方法のVの3.4に準ずる方法	ハンドフオード改良培地法	
15	クリプトスポリジウム	個/10L		1	2	1	1	0	上水試験方法のVの4.1に準ずる方法	免疫磁気ビーズ法・直接蛍光抗体染色法	
16	ジアルジア	個/10L		1	2	1	1	0	上水試験方法のVの4.2に準ずる方法	免疫磁気ビーズ法・直接蛍光抗体染色法	
17	臭化物イオン	mg/L		p. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	上水試験方法のIII-2の4.2に準ずる方法	IC法	
18	総アルカリ度	mg/L		1	2	1	1	1未満	上水試験方法のII-3の14.2.1に準ずる方法	滴定法	
19	電気伝導率	mS/m		p. 1	3	0.1	0.1	0.1未満	上水試験方法のII-3の10.2に準ずる方法	電極法	
20	塩素要求量	mg/L		p. 1	2	0.1	0.1	0.1未満	上水試験方法のII-3の31.2に準ずる方法	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	
21	硫酸イオン	mg/L		p. 1	2	0.1	0.1	0.1未満	上水試験方法のIII-2の6.2に準ずる方法	IC法	
22	溶存鉄	mg/L		P. 2	2	0.01	0.01	0.01未満	上水試験方法のIII-3の13.2に準ずる方法	ICP-AES法	
23	溶存マンガン	mg/L		P. 3	2	0.001	0.001	0.001未満	上水試験方法のIII-3の12.2に準ずる方法	ICP-AES法	
24	放射性セシウム(Cs134)	Bq/kg	Cs134と137の合計で10						水道水等の放射能測定マニュアル	Ge半導体検出器を用いる γ線スペクトロメトリーによる放射能測定法	
25	放射性セシウム(Cs137)	Bq/kg							水道水等の放射能測定マニュアル	Ge半導体検出器を用いる γ線スペクトロメトリーによる放射能測定法	

## (2) 生物試験結果記載要領

### ア 植物類

#### (ア) 藍藻類

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	<i>Anabaena affinis</i>	細胞/mL	ろ過池漏出	
2	<i>Anabaena mucosa</i>	細胞/mL	異臭味	
3	<i>Anabaena planctonica</i>	細胞/mL	異臭味	
4	<i>Anabaena ucrainica</i>	細胞/mL	異臭味	
5	<i>Anabaena</i> spp.	細胞/mL		
6	<i>Microcystis</i> spp.	細胞/mL	ろ過池漏出、凝集沈でん処理障害	
7	<i>Oscillatoria</i> spp.	糸状体/mL		100 μm長を1単位とする
8	<i>Phormidium</i> spp.	糸状体/mL	異臭味	100 μm長を1単位とする
9	その他の藍藻類 (細胞)	細胞/mL		
10	その他の藍藻類 (群体)	群体/mL		
11	その他の藍藻類 (糸状体)	糸状体/mL		100 μm長を1単位とする

#### (イ) 珪藻類

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	<i>Achnanthes</i> spp.	細胞/mL		
2	<i>Asterionella formosa</i>	細胞/mL	ろ過閉塞、異臭味	
3	<i>Aulacoseira granulata</i>	細胞/mL	ろ過閉塞、異臭味	
4	<i>Cocconeis</i> spp.	細胞/mL		
5	<i>Cyclotella</i> & <i>Stephanodiscus</i> spp.	細胞/mL	ろ過閉塞、ろ過池漏出、異臭味	
6	<i>Cymbella</i> spp.	細胞/mL		
7	<i>Diatoma</i> spp.	細胞/mL		
8	<i>Fragilaria crotonensis</i>	細胞/mL	ろ過閉塞	
9	<i>Fragilaria</i> spp.	細胞/mL		
10	<i>Gomphonema</i> spp.	細胞/mL		
11	<i>Melosira varians</i>	細胞/mL		
12	<i>Navicula</i> spp.	細胞/mL		
13	<i>Nitzschia</i> spp.	細胞/mL		
14	<i>Rhoicosphenia curvata</i>	細胞/mL		
15	<i>Skeletonema</i> spp.	細胞/mL	凝集沈でん処理障害、異臭味	
16	<i>Synedra acus</i>	細胞/mL	ろ過閉塞	
17	<i>Synedra ulna</i>	細胞/mL	ろ過閉塞	
18	<i>Synedra ulna</i> v. <i>oxyrhynchus</i>	細胞/mL	ろ過池漏出	
19	<i>Synedra</i> spp.	細胞/mL		
20	その他の珪藻類 (細胞)	細胞/mL		

#### (ウ) 緑藻類

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	<i>Ankistrodesmus</i> spp.	細胞/mL		
2	<i>Carteria</i> & <i>Chlamydomonas</i> spp.	細胞/mL	ろ過池漏出	
3	<i>Dictyosphaerium</i> spp.	細胞/mL	ろ過池漏出	
4	<i>Pandorina morum</i>	群体/mL	異臭味	ろ過池漏出の報告有
5	<i>Scenedesmus</i> spp.	群体/mL		
6	その他の緑藻類 (細胞)	細胞/mL		
7	その他の緑藻類 (群体)	群体/mL		
8	その他の緑藻類 (糸状体)	糸状体/mL		500 μm長を1単位とする

**(エ) 黄金藻類**

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	<i>Mallomonas</i> spp.	細胞/mL	異臭味	
2	<i>Synura</i> spp.	群体/mL	異臭味	
3	<i>Uroglena</i> spp.	群体/mL	異臭味	

**(オ) 渦鞭毛藻類**

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	<i>Ceratium</i> spp.	細胞/mL		
2	<i>Peridinium</i> spp.	細胞/mL		

**(カ) その他の藻類**

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	<i>Cryptomonas</i> spp.	細胞/mL	異臭味	
2	<i>Euglena</i> spp.	細胞/mL		
3	その他の藻類 (細胞)	細胞/mL		
4	その他の藻類 (群体)	群体/mL		

**(キ) 合計**

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
	植物類	N/mL		Nは細胞、群体、糸状体の総数を示す

**イ 動物類****(ア) 原生動物**

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	繊毛虫類	細胞/mL		
2	鞭毛虫類	細胞/mL		
3	根足虫類	細胞/mL		
4	その他の原生動物	細胞/mL		

**(イ) 後生動物**

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
1	線虫類	個体/mL		
2	輪虫類	個体/mL		
3	甲殻類	個体/mL		
4	その他の後生動物	個体/mL		

**(ウ) 合計**

	生物名 (属、種)	計数単位	局内の障害事例	備考
	動物類	N/mL		Nは細胞、個体の総数を示す

※生物試験結果の表のうち、空欄は検出されなかったことを示す。